

分野連携企画報告書

行事（企画）名

MEMSデバイスの最新研究と応用技術講演会（第2回）
～エナジーハーベスタとそのIoT応用技術～

行事URL <https://www.iip-conference.org/iip2024/iip-mnm>

1.開催日・会場 2024年3月5日 @岡山大学&オンライン(ハイブリッド)
(2024年度IIP部門講演会内にて開催)

3.企画内容

本企画は情報・知能・精密機器(IIP)部門とマイクロ・ナノ工学(MNM)部門とのMEMS技術に関する総合的な学術講演会である。IIP/MNM部門相互に隔年での開催とし、企画テーマを随時変更していくことにより、幅広い分野を網羅した発展的な連携となることを目指す。

第2回目の企画は、近年の世界的なカーボンニュートラルの動きを受けて注目度が増しているエナジーハーベスタに焦点を当て、講演4件、約2時間の講演会を開催した。なお、IIP部門講演会がハイブリッド開催であることを利用し、オンライン限定で本企画のみの参加者を別途受け付けた。

4.連携の成果

今回の講演会では、両部門間の交流の促進を意識して、IIPから応用中心の講演者2名、MNMからデバイス中心の講演者2名(うち若手1名)を招待した。最先端のマイクロ・ナノデバイスに関する学術分野から、実際の企業における応用開発事例に至るまで、幅広い講演プログラムを組むことで、多くの聴衆参加と活発な質疑応答等による交流を促した。

オンライン併設の効果もあって、目標である50名前後の参加者数を達成した。また、当日は今回の連携を主導した両部門の前部門長もオンサイト参加し、今後の両部門の更なる連携の促進について合意した。

2.企画部門

情報・知能・精密機器部門
マイクロ・ナノ工学部門

5.今後の課題（苦労した点、課題点、他の企画へのアドバイス等）

前述の通り、今回はハイブリッド開催であったことから、オンライン限定で分野連携企画のみの参加者を別途受け付ける方針とした。更に、エッジプラットフォームコンソーシアム、エネルギーハーベスティングコンソーシアムなど、IIP部門講演会の協賛団体への参画企業からは割引料金で参加可能とし、その旨を直前に両団体にアナウンスした。これが奏功し、特に企業から10数名程度のオンライン参加登録があり、参加者数の底上げに寄与した。

一方、第1回企画でも課題となっていた若手会員の参加を促すべく、学生員のオンライン参加費を1000円という格安に設定したものの、結果として思ったほどの参加者数は得られなかった。学生を意識した専用のコンテンツの重要性が改めて認識された。

今回、企画が両部門間で一巡したことを受けて、今後は一旦現在の開催スタイルを見直す方針。具体的には、一層の参加者増と交流促進を考えて、招待講演と一般講演を併設した総合的なセッションとすることを検討する。一方で、特に企業参加者数の増加に有効性が得られたオンラインとのハイブリッド開催については、可能な限り今後も継続したい。